

Lesson6

文型 (SVOC 型) (1)/ゆず胡椒がそばの味を引き立てる

Yuzukosho makes the taste of soba richer.

SVOC 型は主語(S)、述語動詞(V)、目的語(O)、補語(C)の4つの要素からなる複雑な構成です。SVOC 型では O=C という関係が成り立っています。O=C のところは SVC 型の S=C の関係に似ています。Yuzukosho makes the taste of soba richer. 「ゆず胡椒がそばの味を引き立てる」も SVOC 型の文になっています。

このレッスンを受講することで SVOC 型について理解できます。

■ Topics

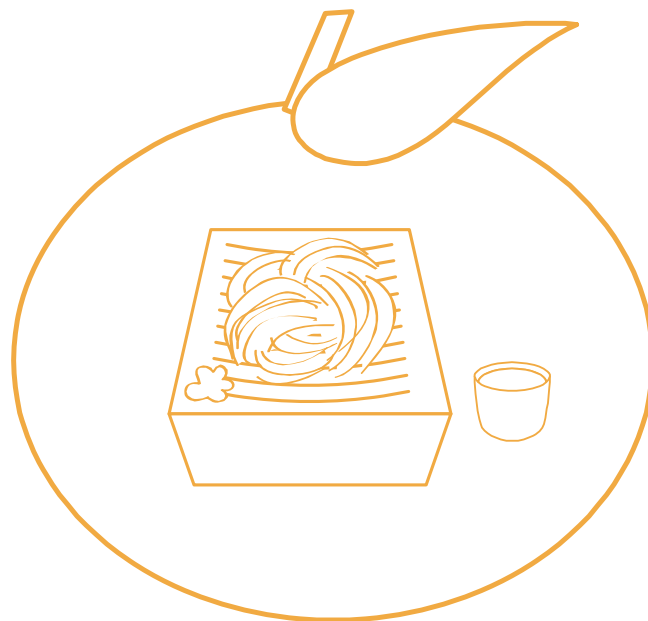
文型 (SVOC 型) / Yuzukosho makes the taste of soba richer.

Topic1 SVOC 型の構成と例文

- SVOC 型の動詞 : make と think
- 補語が形容詞
- 補語が名詞

Wrap-up

DVD 版では練習問題の解説も行います。



Yuzukosho makes the taste of soba richer.

■ Topic1

SVOC 型の構成と例文

SVOC 型の構成について **make** と **think** を例に説明します。どちらの動詞を使っても、**目的語(O)=補語(C)**という関係になります。

●SVOC 型の動詞 : make と think :

make O C : O を C にする / think O C : O を C と思う

SVOC 型の **C (補語)** には **SVC 型の C** と同様、**名詞**または**形容詞**に相当する語(句)が入ります。

注意 : **make** は「～を作る」という意味の他動詞ですが、**SVOC 型**の使い方をすると「**O**を**C**にする」という意味になります。

・ make O C : O を C にする

The news made Betty happy. 「そのニュースはベティーを喜ばせた。」

主語(S) 冠詞+名詞	述語動詞(V) 動詞	目的語(O) 名詞	補語(C) 形容詞
the news 「そのニュース」	made O C 「O を C にした」	Betty 「ベティー」	happy 「うれしい」

・ think O C : O を C と思う

Most members thought the idea (to be) impractical.

「ほとんどのメンバー達はそのアイディアは実用的でないと思いました。」

主語(S) 形容詞+名詞	述語動詞(V) 動詞	目的語(O) 冠詞+名詞	補語(C) 形容詞
most members 「ほとんどのメンバー達」	thought O (to be) C 「O を C と思った」	the idea 「そのアイディア」	impractical 「実用的でない」

●補語が形容詞 :

SVOC 型の文では、**C** に**形容詞**を入れることができます。

Jim made his boss angry. 「ジムは彼の上司を怒らせた。」

主語(S) 名詞	述語動詞(V) 動詞	目的語(O) 代名詞+名詞	補語(C) 形容詞
Jim 「ジム」	made O C 「O を C にした」	his boss 「彼の上司」	angry 「怒って」

Beth thinks herself (to be) qualified for the job.

「ベスは彼女自身にはその仕事に対する資質があると思っています。」

主語(S)名詞	述語動詞(V) 動詞	目的語(O)代名詞	補語(C) 形容詞	追加情報 前置詞+冠詞+名詞
Beth「ベス」	thinks O (to be) C 「OをCと思う」	herself 「彼女自身」	qualified 「資格がある、資質がある」	for the job 「その仕事に対して」

●補語が名詞：

SVOC型の文では、Cに**名詞**を入れることができます。**His musical talent made him a star.** 「彼の音楽の才能が彼をスターにしました。」

主語(S) 代名詞+形容詞+名詞	述語動詞(V) 動詞	目的語(O) 代名詞	補語(C) 冠詞+名詞
his musical talent 「彼の音楽の才能」	made O C「OをCにした」	him「彼を」	a star「1人のスター」

Many people think Reverend Brown (to be) a great preacher.

「多くの人達がブラウン牧師のことを偉大な説教師と思っています。」

主語(S) 形容詞+名詞	述語動詞(V) 動詞	目的語(O) 名詞+名詞	補語(C) 冠詞+形容詞+名詞
many people 「多くの人達」	think O (to be) C 「OをCと考える」	Reverend Brown 「ブラウン牧師」	a great preacher 「1人の偉大な説教師」

スコアアップ！

(DVD版のみ収録)



例題：Their presentation made her _____.

- a. happiness
- b. happy
- c. happily

どのような構文で **made** が使われているのかに注意します。**a. happiness** は「幸福」(名詞)、**b. happy** は「うれしい」(形容詞)です。**Their presentation made her happiness.** 「彼らのプレゼンテーションは彼女の幸福を作った。」は文法的には不可能ではありませんが内容的に不自然です。**c. happily** を入れ **Their presentation made her happily.** 「彼らのプレゼンテーションは幸せそうに彼女を作った。」も文法的には可能ですが意味が不自然です。**b. happy** は形容詞なので **SVOC** 型(主語+動詞+目的語+補語(形容詞))が成り立つ可能性があります。**her** を **happy** にしたという文が成り立つので、**b. happy** が答えになります。

Their presentation made her happy. 「彼らのプレゼンテーションは彼女を喜ばせた。」

表 現力アップに欠かせない SVOC 型

今回は英会話力アップのコツについて紹介します。何か言いたいことがあるけれども、「動詞」がわからない時、ひよっとしたら **SVOC** 型が役に立つかもしれません。例えば「私は人を怒らせた」と言いたい時"私(S) 怒らせた(V) 人(O)"という **SVO** 型の文を言おうと思うと「怒らせる」という動詞が必要になります。でも、**SVOC** 型にすると意外と簡単に「怒らせた」と言えてしまいます。このレッスンの例文にでてきたので分かりますね。"主語 **made** 人 **angry**" などとできます。

例： **I made my boss angry.** 「私は私の上司を怒らせた。」

例： **I made my father happy.** 「私は私の父を喜ばせた。」

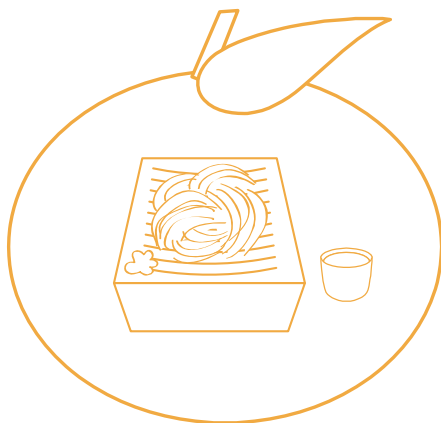
なお、日本語で動詞だからといって英語でも動詞になるとは限りません。

SVOC 型の中でも特に **make** はいろいろと使えるので便利です。英会話は TOEIC(R)Test 対策にもとても有効ですので、ぜひチャレンジしてみてください。

コーヒーブレイク (DVD 版のみ収録)

Wrap-up

- **SVOC** 型は主語(S)、述語動詞(V)、目的語(O)、補語(C)により構成される。
- **SVOC** 型の補語には名詞か形容詞に相当する語(句)が入る。
- **SVOC** 型の **O** と **C** の間には **O=C** という関係が成り立っている。



**Yuzukosho makes
the taste of soba richer.**

「ゆず胡椒がそばの味を引き立てる。」

主語
Yuzukosho 「ゆず胡椒」

述語動詞
makes O C 「O を C にする」

目的語
the taste of soba 「そばの味」

補語
richer 「より豊か」

Practice

先生の解説を聞き、下記の練習問題を解いてみましょう。(DVD版のみ収録)

1. No one thinks his explanation _____.
 - a. reason
 - b. reasoning
 - c. reasonable
 - d. reasonably
2. Your support _____ our endeavor successful.
 - a. was
 - b. thought
 - c. made
 - d. gave
3. Some executives thought the offer _____.
 - a. attractive
 - b. attract
 - c. attracted
 - d. attractiveness

Homework

このレッスンに関連した下記の練習問題に挑戦してみましょう。

1. The comfortable room made our stay _____.
 - a. enjoy
 - b. enjoying
 - c. enjoyable
 - d. enjoyably
2. Everybody _____ the contract to be fair.
 - a. asked
 - b. gave
 - c. became
 - d. thought
3. Their generosity _____ this event possible.
 - a. bought
 - b. handed
 - c. made
 - d. thought

Explanation - Practice

1. No one thinks his explanation reasonable.

「誰も彼の説明が妥当だとは考えない。」

解説： **c. reasonable** 「妥当な」(形容詞)を入れると **SVOC** 型の文が成り立ちます。

まず、文脈や選択肢から空欄には **explanation** を補う語、つまり補語を入れるべきであると想像します。形容詞または名詞に相当する語句が補語になります。**a. reason** 「理由」(名詞)ですが **his explanation = reason** とはなりません。**b. reasoning** 「論拠」(名詞)は **reason** 「理由づける」(動詞)の **ing** 形と考えることもできますが、**his explanation = reasoning** とはなりません。また、**think** は **that** 節をとり **that** 節内に主語+動詞+～という形をとることができますが、**his explanation** が **that** 節内の主語になると考えても **reasoning** は **ing** 形なので **be** 動詞も無いため、文法的に考えても **that** 節の述語動詞になることができません。**d. reasonably** 「合理的に」(副詞)は **SVOC** 型の **C** に入れることはできません。形容詞または名詞に相当する語句が補語になるためです。

2. Your support made our endeavor successful.

「あなたの支援が私達の企てを成功させました。」

解説： **c. made** 「OをCにする」を入れると **SVOC** 型の文が成り立ちます。

SVOC 型の代表的な動詞 **make** の過去形 **made** が、選択肢にあることに注目します。また、**our endeavor** 「私達の企て」(名詞)と **successful** 「成功した」(形容詞)がついていることもポイントです。これらの単語は **SVOC** 型において **O=C** の関係になっています。この二つの単語の関係からこの文が **SVOC** 型であることを予想し、そのために必要な述語動詞が何かと考えます。**a. was** などの **be** 動詞は **O** と **C** の両方を付けることはできませんのでダメです。**b. thought** は「OをCと考える」という意味の **SVOC** 型の使い方がありますが、**your support** が主語であることが問題です。通常、**thought** の主語は人になります。**d. gave** 「与えた」(動詞の過去形)は **SVOO** 型をとる代表的な動詞です。また、**successful** (形容詞)は目的語ではありません。

3. Some executives thought the offer attractive.

「数人の重役達はその申し出を魅力的だと思った。」

解説： **a. attractive** 「魅力的な」(形容詞)を入れると **SVOC** 型の文が成り立ちます。まず、文に **SVOC** 型の代表的な動詞である **think** の過去形 **thought** があることに注目します。そこで、**SVOC** 型を構成していることを想像し、どの選択肢が、**the offer** とイコールの関係になりうるかを考えます。そして、**attractive** が **the offer** とイコールの関係になるという結論を導きます。**thought** は **think** 「考える、思う」の過去形です。**b. attract** 「魅了する」(動詞)をこの位置に入れることはできません。**think** を **SVOC** 型の動詞として使う場合、**C** には名詞または形容詞に相当する語(句)を入れます。ここに動詞の原形を入れることはできません。また、**d. attractiveness** 「人を引きつけること」(名詞)を入れても **the offer = attractiveness** という関係は成立しません。**c. attracted** 「魅了した/魅了されている」(動詞の過去形/過去分詞)では **the offer = attracted** という関係が成立しません。また、**thought** + **that** 節の構成の可能性を考えてみると、**attract** は他動詞なので目的語が必要となります。でも、ここでは **attracted** の目的語となる単語がありません。そのため、この選択肢を選ぶことができないことがわかります。

Explanation - Homework

1. The comfortable room made our stay enjoyable.

「その居心地の良い部屋が私達の滞在を楽しくしました。」

解説 : **c. enjoyable** 「楽しい」(形容詞) を入れると **our stay = enjoyable** という関係が成立します。

ここでも、**SVOC** 型の代表的な動詞である **make** の過去形、**made** があることに注目します。

その前提から、補語を選ぶ問題となりそうなことが分かるので、形容詞または名詞を選ぶと予想します。

a. enjoy 「楽しむ」(動詞) は補語として入れることはできません。**b. enjoying** 「楽しむこと」(動詞の **ing** 形 : 動名詞) は **our stay = enjoying** という関係が成立しません。例えば **be** 動詞を入れて **Our stay is enjoying.** と **SVC** 型の文にするとします。すると、「私達の滞在は楽しむこと」という、おかしい意味になってしまいます。**SVOC** 型の **O** と **C** の関係は **SVC** 型の **S** と **C** の関係と似ていることから考えると、この選択肢を選ぶことができないことがわかります。**d. enjoyably** 「楽しく」(副詞) は補語として入れることはできません。

2. Everybody thought the contract to be fair. 「みんながその契約は公平だと思いました。」

解説 : **d. thought** 「**O** を **C** とする」(動詞) を入れると **SVOC** 型の文が成り立ちます。まず文脈から **the contract to be unfair** が **SVOC** 型の **the contract(O) = unfair(C)** になっていると判断できます。そこで選択肢に、**SVOC** 型の代表的な動詞である **think** の過去形、**thought** があることに注目します。**a. asked** 「尋ねた」(動詞の過去形)、**b. gave** 「与えた」(動詞の過去形) は **SVOC** 型を構成できません。**c. became** 「なった」(動詞の過去形) は **SVOC** 型を作れません。

3. Their generosity made this event possible.

「彼らの寛容さがこのイベントを可能にしました。」

解説 : **c. made** 「**O** を **C** にした」(動詞の過去形) が最も適切です。後ろを見てみると **this event** (名詞) と **possible** (形容詞) がついています。**this event(O) = possible(C)** という関係が成立します。

そこで、**SVOC** 型をとることができる動詞を選んで意味がとおるか確認してみます。**c. made** を入れると「このイベントを可能にした」という意味の **SVOC** 型の文を作ることができます。

a. bought 「持ってきた」(動詞の過去形)、**b. handed** 「手渡した」(動詞の過去形) は **SVOO** 型の動詞です。後ろに名詞となる目的語(**this event**)はありますが、その後が形容詞となっているため **SVOO** 型にはできません。また、これらの動詞では **SVOC** 型の文を構成することはできないため下線部に入れることはできません。**d. thought** 「考えた」(動詞の過去形) は「**O** を **C** と考えた」の意味になり構成上は入れることは可能ですが **their generosity** 「彼らの寛容さ」が主語なので不自然です。